年間授業計画　新様式例

高等学校 令和６年度（全学年用） 教科　保健体育　　科目 保健

教　科：　保健体育　　科　目：　保健　　単位数：　1　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組～　5 組

教科担当者：（１組：向井）　（２組：向井）　（３組：向井）　（４組：向井）　（５組：向井）

使用教科書：（ 新高等保健体育（大修館書店）　　）

教科　保健体育　　の目標：

【知識及び技能】生涯にわたって心身の健康を保持・増進し豊かなスポーツライフを継続するための基礎的・基本的な知識と技能の習得を目指す。

【思考力、判断力、表現力等】自らの思考の過程等を客観的に捉えたり，多様な考え方を理解したり，集団としての考えを形成したりして，思考力・判断力・表現力等を育成する。

【学びに向かう力、人間性等】多様な活動（課題研究発表）を通じて，言語活動やグループなどで対話する場面とプレゼンテーションから対話的・協働的に学ぶ態度を育てる。

科目　保健　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けることができる。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養うことができる。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 薬物乱用と健康 【知識及び技能】 ・本人への影響 ・薬物乱用者による社会問題 【思考力、判断力、表現力等】 ・開始要因 ・防止対策 【学びに向かう力、人間性等】 ・「ダメ、ゼッタイ。」	・コカイン，MDMA などの麻薬，覚醒剤，大麻，など，薬物の乱用は，心身の健康，社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから，決して行ってはならないことを理解できるようにする。 ・薬物乱用を防止するには，正しい知識の普及，健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ，及び法的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることを理解する。 ・パワーポイント、一人１台端末の活用	【知識・技能】 ・薬物乱用による健康および社会への影響について理解する。 ・薬物乱用の防止に必要な個人および社会環境への対策について理解している。 【思考・判断・表現】 ・個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり，諸外国と比較したりして，防止策を評価している。 ・自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由など筋道を立てて説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・薬物乱用について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	B 精神疾患の予防と回復 【知識及び技能】 ・精神疾患とは ・精神疾患の要因 ・代用的な精神疾患 【思考力、判断力、表現力等】 ・発症と回復のポイント ・周囲の人への相談 【学びに向かう力、人間性等】 ・精神疾患との向き合い方	・心理的，生物的，社会的な機能の障害などが原因となり，認知，情動，行動などの不調により，精神活動が不全になった状態であることを理解する。 ・うつ病，統合失調症，不安症，摂食障害など誰もが罹患しうること，若年で発症する疾患が多いこと，適切な対処により回復し生活の質の向上が可能であることなどを理解する。 ・精神疾患の予防と回復には，身体の健康と同じく，適切な運動，食事，休養及び睡眠など，調和のとれた生活を実践すること，早期に心身の不調に気付くこと，心身に起こった反応については体ほぐしの運動などのリラクセーションの方法でストレスを緩和することなどが重要であることを理解する。 ・パワーポイント、一人１台端末の活用	【知識・技能】 ・認知，情動，行動などの不調により，精神活動が不全になることを理解している。 ・誰もが罹患しうること，若年で発症する疾患が多いこと，適切な対処により回復し生活の質の向上が可能であることについて理解している。 ・精神疾患の予防と回復について理解している。 たことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ・精神疾患の予防と回復と自他や社会の課題を発見している。 ・不調に早く気付くために必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・精神疾患の予防とその回復について，課題の解決に向けた学習に自主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	C 事故の現状と発生要因 交通事故防止の取り組み 安全な社会の形成 【知識及び技能】 ・事故とその被害 ・人的要因と環境要因 【思考力、判断力、表現力等】 ・個人による交通事故防止 ・環境対策と安全機能 ・危険予測と危険回避 【学びに向かう力、人間性等】 ・生命の尊重 ・責任と補償	・事故の発生には，周りの状況の把握及び判断，行動や心理などの人的要因，気象条件，施設・設備，車両，法令，制度，情報体制などの環境要因などが関連していること指導事項 ・パワーポイントの活用 ・一人１台端末の活用　等	【知識・技能】 心身の状態や周りの環境，車両の特性などを把握すること，及び個人の適切な行動，交通環境の整備が必要であることについて理解している。 【思考・判断・表現】 事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 安全な社会づくりについて，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
2学期	D 課題研究発表 【知識及び技能】 ・研究の主題と課題 ・資料収集とまとめ （レポート） 【思考力、判断力、表現力等】 ・要点の整理 ・スライドの作成 ・プレゼンテーション 【学びに向かう力、人間性等】 ・練習と改善	・一人一台端末の活用 ・図書館の活用	【知識・技能】 ・課題、内容と仮説が整理され、レポートにまとめられている。 【思考・判断・表現】 図，表，グラフ等を活用して分かりやすく作成と説明がされている。 ・研究結果を踏まえた考察が述べられている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・原稿に頼らず自分の言葉で研究内容を説明し，言葉遣い，声の大きさ，話す速度が適切である。 ・発表を聞き、自己生活に活かそうとしている。	○	○	○	12
3学期	E 思春期と健康 性意識の変化と性行動の選択 結婚生活と健康 妊娠出産と健康 家族計画 【知識及び技能】 ・性機能の成熟 ・現代の結婚問題 ・受精、妊娠と出産 【思考力、判断力、表現力等】 ・家族計画の意義 ・避妊法とその選択 ・人工妊娠中絶 【学びに向かう力、人間性等】 ・性意識と男女差、異性の尊重 ・夫婦関係と親子関係	・女性の体と思春期 ・男性の体と思春期 ・性意識と男女差 ・性の多様性 ・結婚生活とは ・受精と妊娠 ・出産と母体の回復 ・避妊法とその選択 ・人工妊娠中絶 ・パワーポイントの活用	【知識・技能】 ・思春期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面，心理面，行動面などの変化に関わり，健康課題が生じることがあることについて理解する。 ・結婚生活について，心身の発達や健康の保持増進の観点から理解する。 ・受精，妊娠，出産とそれに伴う健康課題について理解する。 ・家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて理解する。 ・良好な人間関係による結婚生活について理解している。 【思考・判断・表現】 ・個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 ・性に関わる情報を適切に整理している。 ・結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上にについて考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯の各段階における健康について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	8 合計 35